

2013(平成25)年3月期 第3四半期決算補足資料

(2012年4月1日～2012年12月31日)

1. 2013.3期第3四半期実績

(百万円)

	'13.3期3Q 実績	'12.3期3Q 実績	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	20,655	21,020	-365	-1.7%
営業利益	2,969	4,118	-1,149	-27.9%
経常利益	3,881	4,137	-256	-6.2%
四半期純利益	2,965	2,728	+237	+8.7%
研究開発費	4,911	4,376	+535	+12.2%
研究開発費率	23.8%	20.8%	+3.0pt	-
営業利益率	14.4%	19.6%	-5.2pt	-
1株当たり四半期純利益(円)	52.20	48.03	+4.17	-

<第3四半期実績と前年同期実績との差異要因>(前年同期比)

売上高: 国内アルツや海外医薬品の販売数量が増加したが、薬価引き下げや研究用試薬事業廃止等の影響を受け、売上高は減少。(-365)

・国内アルツは、医療機関納入本数が6.4%増加し、市場シェアも55.8%(+1.4pt)と上昇したが、当社売上は薬価引き下げの影響を受け前年同期並み。

・米国スパルツは、投与回数の多い製品を償還非推奨する保険会社が徐々に増えていることから現地販売が減少したが、当社売上は販売提携先が在庫水準を高めたことにより増加。

・単回投与の米国向けジェル・ワンは、2012年8月の特許侵害訴訟の勝訴判決を受け、2012年10月から出荷再開。現在は、本格販売に向けて準備中。

・中国向けアルツは現地販売が20%増と好調維持し、当社売上も前倒し出荷があり大幅に増加。

営業利益: 施設の新設や各開発テーマ進捗に伴う研究開発費に加えて、ジェル・ワン訴訟費用などもあり、販売費及び一般管理費が増加。(-1,149)

経常利益: 受取ロイヤリティの増加や、円安に伴い保有外貨建資産の為替評価が差益に転じたことから減益幅が縮小。(-256)

四半期純利益: 前年同期に計上した震災に伴う特別損失が当期は無かったことや、高萩工場の産業再生特区指定による優遇税制の適用等により税金費用が減少したことにより増益。(+237)

2. 2013.3期第3四半期事業セグメント別売上高

(百万円)

	'13.3期3Q 実績	'12.3期3Q 実績	前年同期比		(参考)	
			増減	増減率	'12.3期実績	'13.3期予想
【医薬品事業】	17,985	18,010	-25	-0.1%	23,221	23,200
国内医薬品	13,850	14,181	-331	-2.3%	17,992	17,850
海外医薬品	3,240	2,723	+517	+19.0%	3,505	3,900
医薬品原体	894	1,106	-211	-19.1%	1,723	1,450
【LAL事業】	2,669	3,009	-339	-11.3%	3,860	3,550
合計	20,655	21,020	-365	-1.7%	27,082	26,750
(海外売上高)	4,989	4,683	+305	+6.5%	6,035	6,350

3. 通期業績予想と進捗率 (2012年11月6日に公表しました修正予想に変更ありません)

(百万円)

	'13.3期 予想	'12.3期 実績	前期比		'13.3期3Q 実績	進捗率
			増減	増減率		
売上高	26,750	27,082	-332	-1.2%	20,655	77.2%
営業利益	2,700	4,617	-1,917	-41.5%	2,969	110.0%
経常利益	3,550	4,770	-1,220	-25.6%	3,881	109.3%
当期純利益	2,700	3,270	-570	-17.5%	2,965	109.8%
研究開発費	6,700	5,970	+729	+12.2%	4,911	73.3%
研究開発費率	25.0%	22.0%	+3.0pt	-	23.8%	-
営業利益率	10.1%	17.0%	-6.9pt	-	14.4%	-
1株当たり当期純利益(円)	47.53	57.58	-10.05	-	52.20	-